

ジュニア賞

不動産クエスト

山崎 翔（高校3年生：大分県）

私は、空き家問題について考えました。空き家があることによって、不法侵入や不法占拠の犯罪のリスク、老朽化による倒壊など、危険性が高まるのです。

そんな空き家を減らしていくためにも、「不動産クエスト」というカードゲームを制作します。

プレイヤーは、客側、売り手側に分かれてもらい、客側は希望金額で購入できれば勝利し売り手側は希望金額より高い金額で購入させれば勝利になります。

家の販売値段は500万円からのスタートです。

※〔 〕はカードの種類です

客側には

〔役職〕年齢、性別、仕事、結婚しているか独身かなどをランダムで引いた役職を演じてもらいます

〔交渉〕値下げ交渉の仕方を選べます

例えば、壁が汚れているなどのクレームカードがあります

クレームカードには嘘か本当かが書いてあり、嘘の場合、嘘とばれないように立ち回ります。嘘とばれた場合、その時点の値段で購入が決まります

値下げカードがあります。値下げカードには収入面や貯金などの情報が書かれています。こちらにも嘘か本当かが書いてあり、クレームカードと同じように嘘がばれた時点で購入になります

〔希望金額〕金額の値段までの値下げ 相手に言うも言わないも自由です

選んだカードを演じてもらい、値段を安くするように交渉します

売り手側には

〔特典〕相手の年齢層に応じて、特典を差上げます。

例えば、ご当地食品や、引越し費用負担などの特典を選び購入してもらいます

〔交渉〕相手の交渉に対して了承、拒否をします

こちらにも嘘が書かれています。ばれた場合相手の希望額で販売です

両方所有

〔審議〕相手の交渉に偽りが無いかを確かめることができます。ただし相手側が嘘をついたと思うときのみ使えます。1ゲーム1回のみです。

このゲームをすることによって、空き家を減らして犯罪などのリスク軽減ができると考えます。また、新社会人になって家を借りる人への練習にもなればよいと思います。